第５章　多文化共生の推進のための施策・事業

北上市の多文化共生推進にあたり、基本目標ごとに関連する施策・事業及び活動指標を定めました。市役所関係各課の取り組みの他、関係する民間事業所等にも協力を働きかけていきます。

基本目標１　言葉の違いがあっても、公平にサービスが受けられる環境を作ります。

事業１　外国人転入者に対する生活相談

（主体　市、国際交流協会）

国際交流ルームの存在が多くの人に認知され、外国人住民のみならず、これまでどこへ相談したらよいかわからなかった日本人住民からの相談の増加が考えられます。

事業２　子育て、医療・福祉等サービスの多言語、ひらがな表記での情報提供

（主体　市）

市が発行する外国人住民が読む可能性のある公用文書については、わかりやすい表記（多言語・ひらがな）を増やし、確実に内容が伝えられるようにします。

事業３　外国人が医療機関を受診しやすくするための環境整備

（主体　民間、市）　新規

症状をうまく伝えられないために医療機関を受診しないということを避けるため、外国語対応可能な医療機関の情報提供、通訳の養成・派遣などの環境整備を行います。

事業４　公共施設の案内表示等の多言語表記の推進

（主体　市）

市役所本庁舎をはじめ市の施設の案内看板等の多言語化を実施します。

事業５　民間施設の多言語表記の推進

（主体　民間、市）

北上市多文化共生事業費補助金（多言語表記・無料公衆無線ＬＡＮ整備）を活用して民間事業所が案内看板等及びサービスの多言語化を推進します。

基本目標１の活動指標

事業	内容	実績（H26）	目標（H32）	備考
1	外国人相談件数（国際交流ルーム扱い分）	121	140	H26はアジアマスターズ陸上競技選手権大会開催により、例年と異なる利用傾向のため実績値はH25を使用。
2	市公用文書のひらがな表記率（外国人あての文書に限る）	－	100%	
3	医療機関外国人受入環境整備	－	実施	
4	市施設の多言語表記率	3.2%	10.0%	
5	北上市多文化共生事業費補助金（多言語表記・無料公衆無線ＬＡＮ整備）交付件数	３件	３件	H27から無料公衆無線ＬＡＮを補助対象としたため、実績値はH27（H28.1末現在）を使用。

基本目標１の成果指標

市公用文書のひらがな表記率（外国人あての文書に限る）　100%（平成32年度）

基本目標２　子どものうちから外国語、多文化に親しむ機会を設けます。

事業１　ＡＬＴ（外国語指導助手）の配置、通訳支援事業の実施

（主体　市）

国際的に活躍する人材を育成するためＡＬＴ（外国語指導助手）派遣環境を充実します。

事業２　インターナショナルスクールの開催

（主体　市、国際交流協会）

国際的に活躍する人材を育成するため語学とともに外国文化に触れる機会を充実します。

事業３　文化施設、教育施設案内看板等の多言語表記の推進

（主体　市）

市役所本庁舎をはじめ市の施設の案内看板等の多言語化を実施します。

事業４　外国人の地域活動参加への助成

（主体　自治会等、市）　新規

自治会等が行う外国人住民との交流を深める活動、防災訓練、外国文化を理解するための講演会開催などの取組に対して、その取組を多文化共生事業費補助金交付により助成します。

事業５　外国語講座、日本語講座

（主体　市、国際交流協会）

日本人が外国人との交流を深められるように外国語講座を、外国人が日本の生活になじむことができるように日本語講座を実施します。外国語講座はスペイン語、中国語、英語等を実施します。

事業６　姉妹都市、友好都市交流の推進

（主体　市）

姉妹都市のアメリカ・コンコード市、友好都市の中国・三門峡市との交流を継続します。

基本目標２の活動指標

事業	内容	実績(H26)	目標(H32)	備考
1	ＡＬＴ(外国語指導助手)による、各学級あたりの年間国際理解教育の授業回数 小学校/中学校	10/12回	30/30回	
2	インターナショナルスクール事業参加者数	94人	100人	H27から開催のため、実績値はH27年度を使用。
3	市施設の多言語表記率	3.2%	10.0%	
4	北上市多文化共生事業費補助金(多文化共生)交付件数	－	2件	
5	外国語講座開催回数 日本語講座開催回数	47回 59回	52回 70回	
6	姉妹都市・友好都市交流	継続	継続	

基本目標２の成果指標

インターナショナルスクール事業参加者数　100人（平成32年度）

平成27年度インターナショナルスクール事業の様子

基本目標３　外国人と日本人が交流する機会をつくり、相互理解を促進します。

事業１　観光施設案内看板・パンフレット等の多言語表記

（主体　民間、市）

市役所本庁舎をはじめ市の施設の案内看板等の多言語化を実施するとともに、北上市多文化共生事業費補助金を活用して民間事業所が案内看板等の多言語化を推進します。

事業２　インターナショナルスクール卒業生を活用した観光案内の実施

（主体　市）　新規

平成27年度から開講しているインターナショナルスクールの卒業生の成果発表の場として、また、年々増加する外国人にお
もてなしの気持ちを伝えるため、さくらまつりなどのイベントでの観光案内ボランティアを行います。

事業３　民間事業所に対する北上市多文化共生事業費補助金（看板等の多言語化・無料公衆無線ＬＡＮ整備）の交付

（主体　市）

民間事業所が実施する案内看板等の多言語化、外国人の要望が多い無料公衆無線ＬＡＮ環境の整備に対して、北上市多文化共生事業費補助金を交付します。

事業４　外国人労働者を雇用する企業と関係機関の連携

（主体　民間、市）

外国人労働者雇用に伴う課題が生じた際に外国人労働者を雇用する企業と市、県、国その他関係機関が情報交換を行い、課題を共有し、その対策を検討します。

事業５　ワン・ワールド・フェスタの開催

（主体　国際都市推進きたかみ市民会議）

平成25年度から開催しているワン・ワールド・フェスタを継続開催し、多文化理解を進めます。

事業６　免税店の整備などインバウンド対策の実施

（主体　民間、市）　新規

北上市を訪れる外国人が利用する免税店を整備する来訪外国人旅行者の利便性向上を図ります。

基本目標３の活動指標

事業	内容	実績(H26)	目標(H32)	備考
1	市施設の多言語表記率 北上市多文化共生事業費補助金(多言語表記・無料公衆無線ＬＡＮ整備)交付件数	3.2% ３件	10.0% ３件	H27から無料公衆無線ＬＡＮを補助対象としたため、実績値はH27(H28.1末現在)を使用。
2	さくらまつり観光案内ボランティア数(期間中延べ)	－	10人	スクールはH27から開講のため、実績値なし。
3	北上市多文化共生事業費補助金(多言語表記・無料公衆無線ＬＡＮ整備)交付件数	３件	３件	H27から無料公衆無線ＬＡＮを補助対象としたため、実績値はH27(H28.1末現在)を使用。
4	企業と関係機関の連携	実施	実施	
5	ワン・ワールド・フェスタの開催	実施	実施	
6	インバウンド対策の実施	－	実施	

基本目標３の成果指標

ワン・ワールド・フェスタの開催　継続（平成32年度）

平成27年度のワン・ワールド・フェスタの様子

基本目標４　当市の美しい環境を守り、安心・安全な地域社会を構築します。

事業１　外国人のごみ出し方法の理解促進

（主体　市）

ごみの分け方、出し方の多言語版を発行、配布し、ルールを徹底します。

事業２　外国人の防災訓練への参加誘導

（主体　自治会等、市）新規

災害弱者となりやすい外国人住民に地域等の防災訓練へ参加してもらい、災害時に備えます。

事業３　外国人住民相談の実施

（主体　市、国際交流協会）

今後も増加が見込まれる外国人住民からの相談に対応します。

基本目標４の活動指標

事業	内容	実績(H26)	目標(H32)	備考
1	ごみの分け方・出し方ポスターの多言語版発行	実施	実施	
2	各自主防災組織等での外国人を含む防災訓練の実施回数	－	16回	
3	外国人相談件数(市国際交流ルーム扱い分)	121件	140件	H26はアジアマスターズ陸上競技選手権大会開催により、例年と異なる利用傾向のため実績値はH25を使用。

基本目標４の成果指標

各自主防災組織等での外国人を含む防災訓練の実施回数　16回(平成32年度)

基本目標５　災害時を中心に命を守る情報を等しく提供できるように取り組みます。

事業１　市ホームページ多言語化の推進

（主体　市）

平成26年度に多言語対応となった市のホームページの活用を促すとともに、利用者の要望に応えて見直します。

事業２　市所管施設の無料公衆無線LAN環境の整備推進

（主体　市）新規

外国人の来訪が多い公共施設の無料公衆無線ＬＡＮ環境の整備を実施します。

事業３　民間施設の無料公衆無線LAN環境の整備推進

（主体　民間、市）

北上市多文化共生事業費補助金を活用して民間事業所が外国人から要望が多い無料公衆無線　ＬＡＮ環境の整備を推進します。

事業４　公共交通に係る多言語化推進

（主体　民間、市）

北上市多文化共生事業費補助金を活用して民間事業所が案内看板等の多言語化を推進します。

事業５　災害時の外国人に対する情報提供体制の整備

（主体　市）　新規

災害弱者となりやすい外国人住民に対して防災情報提供の体制を整えます。

基本目標５の活動指標

事業	内容	実績（H26）	目標（H32）	備考
1	市ホームページ多言語化の継続	実施	実施	
2	市所管施設の公衆無線ＬＡＮ環境を整備	－	実施	
3	北上市多文化共生事業費補助金（多言語表記・無料公衆無線ＬＡＮ整備）交付件数	３件	３件	H27から無料公衆無線ＬＡＮを補助対象としたため、実績値はH27（H28.１末現在）を使用。
4	北上市多文化共生事業費補助金（多言語表記・無料公衆無線ＬＡＮ整備））交付件数	３件	３件	H27から無料公衆無線ＬＡＮを補助対象としたため、実績値はH27（H28.１末現在）を使用。
5	多言語防災マニュアルの作成・配布	－	実施	

基本目標５の成果指標

多言語防災マニュアルの作成・配布　実施（平成32年度）

基本目標６　外国人、日本人双方が課題を持ち寄り、より快適に生活できる環境を創造します。

事業１　国際交流ルームの活用

（主体　外国人住民、日本人住民）

国際交流ルームが外国人住民、日本人住民に多く認知され、国際交流の拠点として多くの人が来館します。

事業２　国際都市推進きたかみ市民会議※との連携

（主体　国際都市推進きたかみ市民会議、市）

北上市の国際化推進のために設立された同会議と連携し、多文化共生指針施策の進捗状況を把握し、必要な対応を検討します。

※国際都市推進きたかみ市民会議…北上市が国籍や民族を問わず、誰にもやさしく、暮らしやすく、そして、訪れても快適な多文化共生の国際都市に成長していくため、地域の国際化推進方針を定め、市民や各種団体等が情報を共有・連携しながら、協働でその実現に向け活動することを目的とする。（国際都市推進きたかみ市民会議会則から）

事業３　出前講座（外国人市民受入講座）の実施

（主体　自治会等、民間、市）

日本人住民が外国人を受け入れる際の心構えなどを学び、異文化を理解しながら、地域で外国人を受け入れる体制を整えます。

事業４　国際交流・通訳ボランティアの養成

（主体　市、国際交流協会）

インターナショナルスクールの開催などにより、外国人観光客、姉妹都市・友好都市訪問団の受け入れ時のおもてなしの際に活動する国際交流・通訳ボランティアを養成します。

事業５　外国人労働者、企業と関係機関との連携

（主体　外国人住民、民間、市など）

外国人労働者雇用にともなう課題が生じた際に、外国人労働者を雇用する企業と市、県、国その他関係機関が情報交換を行い、課題を共有し、その対策を検討します。

事業６　県、市町村、各国際交流協会等関係機関との連携

（主体　県、市町村、各国際交流協会など）

外国人住民に対する取組について、他市町村や県及び関係機関とその取組を共有するとともに、外国人住民の意見も聞きながら、課題など様々な情報交換ができる場が必要と思われるので、連携を呼びかけていきます。

基本目標６の活動指標

事業	内容	実績（H26）	目標（H32）	備考
1	国際交流ルーム来館者数	4,415人	4,700人	H26はアジアマスターズ陸上競技選手権大会開催により、例年と異なる利用傾向のため実績値はH25を使用。
2	国際都市推進きたかみ市民会議との連携	実施	実施	
3	出前講座（外国人市民受入講座）利用回数	0件	10件	H27から実施のため、実績値はH27を使用。
4	国際交流・通訳ボランティア登録者数（法人登録含む）	132人	170人	H26はアジアマスターズ陸上競技選手権大会開催により、例年と異なる利用傾向のため実績値はH25を使用。
5	外国人労働者、企業と関係機関との連携	実施	実施	
6	県、市町村、各国際交流協会等関係機関との連携	実施	実施	

基本目標６の成果指標

県、市町村、各国際交流協会等関係機関との連携　継続（平成32年度）